

第5回（平成17年度第4回） かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成17年12月26日（月）午後3時～

○場所：吉田福祉センター 2階会議室

1 開 会

2 報 告

- (1) 第4回（平成17年度第2回）地域まちづくり会議における意見等の検討状況について（全市的な事項）
- (2) 第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議について
- (3) 第四次鹿児島市総合計画実施計画（平成18年度～平成20年度）について

3 協 議

- (1) 合併後の本市のまちづくりについて
- (2) 今後の会議の進め方について

4 その他

5 閉 会

かごしままちづくり会議委員名簿

(平成17年12月26日現在)

職 名 等	氏 名	摘 要
鹿児島大学法文学部教授	宮 廻 甫 允	会 長
日本ガス株式会社専務取締役	津 曲 貞 利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西 園 登	
桜島地域まちづくり会議会長	萩 原 道 也	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府 健 司	
松元地域まちづくり会議会長	四 元 泰 盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐 島 諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩 元 純 吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡 本 阜 八	
公募市民	中 迎 蘭	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず代表	永 山 恵 子	
鹿児島市教育委員	奈良迫 ミチ子	
公募市民	野 口 誠	
鹿児島市総務局長	草 留 義 一	
鹿児島市企画部長	新 地 茂 樹	

第5回（平成17年度第4回）かごしままちづくり会議資料

○日時：平成17年12月26日（月）午後3時～

○場所：吉田福祉センター 2階 会議室

目 次

ページ

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 第4回（平成17年度第2回）地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市
的な事項） | 1 ～ 4 |
| 2 | 第5回（平成17年度第3回）地域まちづくり会議概要 | 5 ～ 8 |

第4回（平成17年度第2回）地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市的な事項）

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局（所管課）	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	喜入	各種団体役員を対象とする会議については、周辺地域へ配慮し各地域でも開くよう検討できないか。	2	市民局	各種団体役員が出席する会議や説明会を行う際は、出席者の利便性に配慮し、各支所管内でも会議等を開催するよう、各局に対して要請を行ってまいりたい。	5
2	松元	環境点検マップを地域住民にも配布するなど、危険箇所などについての周知を図ってほしい。	2	教育委員会	環境点検マップは各学校が保護者や地域の方々、関係機関・団体の協力をいただいで作成しているものである。各学校では、保護者はもとより、校区の関係機関や団体などにも配布し、情報の共有化を図りながら、児童生徒の安全確保について協力をお願いしていく予定である。	1
3	松元	アスベストは一般人には見分けがつきにくい。一般住宅の壁などにアスベストが含まれているかを判定する専門職員や検査機関はないのか。	2	環境局	アスベストに関する一般的な相談窓口を環境保全課に設置し、アスベスト含有の判定を行う検査機関についても案内を行っている。	1
4	郡山	今後の農家は、認定農家になるくらい目標をもって取り組みまないと非常に厳しい状況がある。国の制度等も認定農家中心になっていくようである。	2	経済局	国においては、認定農業者等担い手の確保・育成を図り、集中的・重点的な支援を行なうこととしているところである。本市においても、これらのことから認定農業者の確保・育成に取り組んでいるところである。 ※新市まちづくり計画 5産業活力都市／(4)農林水産業／54ページ	1

第4回（平成17年度第2回）地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市的な事項）

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局（所管課）	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
5	郡山	2007年以降、団塊の世代が大量定年を迎えるが、3年間の退職金が100兆円という試算もでており、また、これらの退職者の中には田舎住まいをしたいという希望者が非常に増えているという統計がある。こういった方々に対して興味としての農業を勧める意味で、情報提供や環境づくり、或いは支援策を考えて、郡山地域に住まわないうまでも、通って田畑を耕していただけような方策が必要ではないか。そういった取組みから定住者も出てくる可能性があると思う。	2	経済局	就農を希望される方についての研修制度や就農した後の各種補助事業などを実施しているところである。一方、就農以外でも棚田を活用した参加型体験農業や市民農園の支援を図っているところである。 ※新市まちづくり計画 5産業活力都市／(4)農林水産業／54ページ	1
6	郡山	都市農業センターの貸し農園は、常に満杯のようであるが、郡山地域には休耕地がたくさんあるので、農地を貸したい人、借りたい人の取次ぎをするような窓口があればいいのではないか。さらに一歩踏み込んで、市街地のマンション居住者等に対して農地や竹林の空き情報等を発信して、利用してもらおうような方策を取れないものか。	2	経済局 農業委員会	市民農園の設置については、地域性や農家の意向等を踏まえながら検討しているところである。 ※新市まちづくり計画 4交流拠点都市／(3)農村地域整備／45ページ	1
					農業委員会には農地銀行というものを設置しており、これは農地を「貸したい」、「借りたい」という農業者の意向を踏まえて、地元の農地に精通された農業委員が中心になって、農地の利用調整の方向付けを一体的に進める組織である。このような希望や相談等の窓口として、郡山支所内に農業委員会郡山支局があるので、直接職員へ相談されるか又は近くの農業委員へ相談いただきたい。	1

第4回（平成17年度第2回）地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市的な事項）

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局 (所管課)	意見等に対する検討状況	検討状況 の分類
7	郡山	都市農業センターのような貸し農園や観光農園とするためには、ある程度の農地を集積して、そこで交流できるということも必要だと思うので、行政の方でも検討していただければと思う。	2	経済局	市民農園の設置については、地域性や農家の意向等を踏まえながら検討しているところである。また、観光農園についても、地域の特性や農家の意向を検討しながら取り組んでいるところである。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (3) 農村地域整備 / 45ページ	1
8	郡山	若い世代は、農地を借りても作り方が分からない。高齢者が指導者になって、一緒に作物が作れるようなシステムがあれば、高齢者の生きがいづくりや世代間交流にもなっているのではないかと。	2	経済局	集落における話し合い活動を推進し、地域の活性化を図っているところであり、その活動のひとつとして若い人や高齢者を交えた農談会等を行っている。 ※新市まちづくり計画 5 産業活力都市 / (4) 農林水産業 / 54ページ	1
9	郡山	農業の零細化が進んでいる中では、個々の農家が農業機械を購入することは負担が大きいので、農協等が中心になって農業機械を貸し出すようなシステムが必要ではないかと思う。	2	経済局	農協等が農機具を貸し出すシステムについては、地域農業者や農協等の意向を聞く中で、話し合いを行なっていきたい。	4

第4回（平成17年度第2回）地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市的な事項）

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局（所管課）	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
10	郡山	日本は食糧の多くを輸入に頼っているが、いざれ餓えの時代が来ることは明白であり、「食」の大切さと「食」につながる「農業」の重要性を子どもたちに伝える必要がある。	2	経済局	食や農業に対する理解を深めるため、鹿児島地域“食”交流推進協議会(鹿児島市、三島村、十島村、十島村及び各教育委員会、関連農業協同組合、保健所、九州農政局等で構成、事務局は鹿児島農業改良普及センター)において食・農に関する情報提供・啓発活動を行うとともに子供たちへの食・農教育の充実につとめている。また本市としては、17年度には桜島及び喜入地域の小・中学校を対象に農作業体験事業を実施する。 ※新市まちづくり計画 5産業活力都市／(4)農林水産業／54ページ	1
				教育委員会	「食」の大切さや「農業」の重要性については、給食の時間ほもとより、保健体育科や技術家庭科、社会科、理科、特別活動のほか、総合的な学習の時間等において、米づくりや野菜づくり、収穫した農作物を活用した調理など体験的な活動を通じた学習の充実を図るなど、全教育活動を通して担任教諭や学校栄養職員等が「食」に関する指導の中で指導を行っているところである。 また、「食育の推進」を重点事項にして取り組んでいるPTAと連携するとともに、学校保健委員会等に「望ましい食習慣」や「食事と健康」などをテーマに、学校医や学校栄養職員等から指導を受けるなどして、「食」と「農」の重要性を啓発しているところである。 今後とも、「食」に関する指導の充実や関係機関・団体等との緊密な連携を図りながら、「食」の大切さや「農業」の重要性について、児童生徒及び保護者の理解が深まるよう努めてまいりたいと考えている。	1

第5回(平成17年第3回)地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	榎島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
開催日時	平成17年12月5日(月) 14:00~15:15	平成17年12月5日(月) 9:30~12:15	平成17年12月6日(火) 14:00~15:50	平成17年12月20日(火) 15:00~16:45	平成17年12月6日(火) 14:30~17:30
開催場所	吉田福祉センター2階会議室	榎島支所2階大会議室	マリニア喜入八幡温泉保養館 2階第1会議室	松元支所3階大会議室	郡山支所3階会議室
出席者数	委員13人	委員11人	委員14人	委員14人	委員12人
会議内容	<p>1 開 議</p> <p>2 会 題 第四次鹿兒島市総合計画実施計画(平成18年度~平成20年度)について(報告) 第4回(平成17年度第2回)会議における意見等の検討状況(報告) (1) 今後のまちづくり会議の進め方について (2) 消防分遣隊の概要について(松元・郡山地域のみ) (3) その他 3 閉 議</p>	<p>1 産業廃棄物の焼却施設建設の情報を得たが、施設の建設によって生活基盤への影響や環境の破壊にもつながる。吉田にとつて自然は一番大切なところだと思つて建設について反対である。</p> <p>2 産業廃棄物の焼却施設建設の情報を得たが、施設の建設によって、この地域まちづくり会議でも阻止に向けた活動へ全面的な協力をお願いしたい。</p>	<p>1 地域特性を生かした農林水産業を振興するということ、土地改良事業の推進「ほ場、農道、水路等農業用施設の整備など」とあるが、農業後継者育成が最も大切なことであり、さらに力を入れていると聞きたい。そこで、新規就農者の支援、農業育成担い手の支援について、どの様な支援を行うのか。</p> <p>2 「観光農業公園の整備」、「農業体験学習の推進など消費者との交流促進」、「市民農園の整備」の3つの事業は、いろいろな活動でつながってくることになると思う。観光農業公園や市民農園の整備について、消費者の人も農村部に来てもらうことへの整備を要望したい。</p> <p>3 「里道等の生活道路整備について、その必要性について検討してまいりたい」と生活道路として使用している喜入地域住民の多くは高齢者であるため、この方々に財政的な負担を少しでもかからないように拡幅できる施策を考えてほしい。</p>	<p>1 「実施計画」の「個性創造都市」の編入については、現時点での課題が反映されない不安がある。例えば、基本方針に「いじめや不登校のない学校づくり」を掲げているが、最近の事件などを反映して「安心して登下校できる環境づくり」といった視点も取り入れて計画を策定していただきたい。</p> <p>2 介護予防拠点施設「石坂の里」は高齢者のための施設であることは理解しているが、公共施設が少くない地域性などを考慮し、身近にある施設として地元住民が気軽に利用できるよ、利用条件の緩和や使用料の軽減をしていただけないか。</p> <p>3 松元学校給食センターではガス回収釜の断熱材としてアスベストが使用されていたことが、市内の他の公共施設におけるアスベスト使用状況の調査結果はどのようなものか。</p>	<p>1 総合計画実施計画の中に旧郡山町時代に計画されていた花尾神社周辺の整備に係るものが全く掲載されていないが、考え方を示して欲しい。</p> <p>2 来年度設置される郡山分遣隊に配置される救急車は、高規格救急車ではないとのことであるが、郡山地域から市街地の病院への搬送にはかなりの時間を要すること等を考えると高規格救急車の配置をお願いできないか。</p> <p>3 合併した地域の医療機関が全く休日当番医に入っていないように思う。郡山地域に頼らず、遠くの医療機関まで行くのは大変なので、合併後、市域も広がり、人口も増えている状況を踏まえて、充実を図っていただきたい。医師会の事業とのことではあるが、鹿児島市としても積極的に働きかけをお願いしたい。</p>

第5回(平成17年第3回)地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
4	漁業振興の上で、マダイ、ヒラメの放流に加え、魚礁の投入も必要である。	地域活力を維持するために市営住宅の建設は必要であり、今年度は調査を行うこととなっているが、桜島地域は旧5町の中で人口減少率が一番大きいという実態も調査検討の材料としてとらえていただきたい。	地域における防犯関係についてであるが、実施計画の主な事業の中にある「地域防犯パトロール隊の結成促進・活動助成」について、具体的にどのような内容の事業なのか。また、地域に対してどのような役割を期待しているのか。	松元がお茶の生産地であることを知らない人が多い。行政は、ポスターを作るなどして、もっと松元茶をPRする必要があるのではないか。	商工会が主催している夏まつり、甲突池まつり、八重山ハイキング等のイベントについては、行政からの補助金の減少や商工会の合併問題など、先行きに不安材料が多く、もっと地域の盛り上がりがないければ、続けていけない状況がくるのではないかと危惧している。
5			犯罪が都市から田舎に移ってきている。喜入地域は寂しいと、地域住民、PTA、警察、郵便局などと連携を図りながら検討することが必要ではないか。	静岡茶や八女茶、宇治茶などはブランド名が知れ渡っており、よく売れるそうである。販売促進のためにも、松元茶のブランド化を推進していただきたい。	合併前に各町で実施されていた各種イベントがあるが、その中で八重山ハイキングは郡山町商工会の定款にある「社会一般の福祉の増進に資する事業」という位置付けで、商工会事業の一環として実施しているものである。一方で、ふるさと祭りのように鹿見島市が直接実施しているイベントもある。また夏祭りに主体的にやっているというところであるが、人口も商店街も少ない地域が同じようにやっていくのは困難な面がある。こういった様々なイベントに対する鹿見島市の支援のあり方、関わり方について、この会議の中で協議して、何らかの提言をしていけないものか。
6	桜島小みかんは永年作物であるので、簡易に品種を取り替えることは難しく、生産販売が順調でなければ農家は厳しくなることから、永年作物への取り組みとしてJAなど関係機関との協力と販売等についての行政の支援も必要である。	農水省は農家にインセンティブ補償の設置を許可するとの報道があったが、鹿見島県は対象地域に入っていないようであるので、県に対象となるよう要請してほしい。	松元地域の農業従事者は60歳代以上の高齢者が多い。後継者の育成については、市としてのどのような取り組みをしているのか。	住民自治組織の集会所である地域公民館には、依然として、旧松元町の町旗や町民憲章、町民歌の歌詞などが掲示されたままである。合併して1年経ったが知らない人も多いと思うので、地域公民館に市旗や市民憲章、市民歌の歌詞を配布していただきたいか。	昨年、今年と婦人会でおおはら祭りに参加したが、桜島と喜入の方々がかなり大きな盛り込みで参加されていた。郡山地域も来年からは、もっと呼びかけをして郡山地域として参加してはどうか。行政が音頭をとれないか。
7					地域運動会は参加が少なかったが、内容的には充実したのになったと感づいている。もっと行政サイドがしっかりと旗振りをして充実したものにしたい。
8	桜島地域は、旧市域等に比べて台風時など停電が多く、復旧に時間がかかる地域である。地元企業にとっては、憂慮すべき問題であるので、電力会社の責任とすべきところが、行政もなぜ停電が多いのかを積極的に調査して、課題解決に取り組むことが、安心安全のまちづくりにつながる。				どんなイベントにせよ、経費と人手が必要であるので、どうしても住民の協力ができないとできない。そういう意味からは自治会を中心に集めていって、住民参加を進めるべきである。また、合併前のスポーツ行事は体育協会が中心になっ進めてきたので、改めて同様な組織である地域スポーツクラブを作ろうということと、現在、準備を進めている。

第5回(平成17年第3回)地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
9		旧町時代は社会教育課で関係団体の世話をしていたが、合併後は関係部局が分かれ、連携がとれない状況がある。組織上、難しいかもしれないが、支所において地域にある各種団体や社会教育関係団体が連携を図れる場を作るべきである。			地域運動会については、本年度は参加が少なかつたので、来年度に向けては早めに各自治会に周知して、組織を整備したい。
10		1~2ヶ月前に断水があった。非常に断水時間が長く、住民は不安になった。市民に対する適切な情報の提供のために、目的は違っても、情報が防災無線を十分活用して身近な情報を提供していくことが、市民の安心につながる。			長年、各自治会等で川払いや河川の清掃を行ってきたが、河川改修によって、川に下りることのできる場所がなくなり、作業がやりにくくなった。改修できないものか県に要請してほしい。
11		県道桜島港黒神線は、生活道路、避難道路としての重要性から県道の整備促進を毎年度関係省庁、県に要請してきた経緯がある。特に主要な地方道であるので整備に取り組んでほしい。			川田川の河川改修の際に樋渡堰と一の宮堰に魚道が設けられているが、堰を上げて水を溜めないと魚が昇れない構造になっている。改修できないものか県に要請してほしい。
12					地域の川は自分たちで守っていくという思いで自治会で川払いを実施してきたが、最近ではピニールや養泡スチロールなど燃やせないごみが多いので、河川管理者である県にごみの回収を何度も要請したが、全く回答がなかった。今年度の川払いは中止した。回収を県に要請してほしい。
13					河川に下りれる場所については、以前にも要望した経緯があるが、管理者の立場としては、事故が起こつたら責任を問われるのでできないという回答があった。川払いでは、高齢者や女性が機械を担いで梯子を下りて作業をするなど、かえって危険な場面もある。また子どもたちにも水に親しむ教育をという一方で危険だから川に行くなという矛盾もある。そういった点も含めて検討していただくよう県に要請してほしい。
14					甲突川流域の自治会を対象に実施されているサツマンソイルの無料配布を神之川流域の自治会にもお願いしたい。

第5回(平成17年第3回)地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
15					鹿児島市では自然遊歩道というものを指定しているのが、郡山地域にも八重山などの山、川や滝、花屋神社をはじめとする史跡など、いわゆる「里山」の資源が多い。この里山を歩くことで地域の活性化につなげていくことができののではないかと思う。自然遊歩道として郡山や吉田地域の自然のすばらしさを広く市民に紹介してほしい。
16					常盤の小学校跡地で催しをしたり、雪元の山の中でツリーハウスを造るなど、郡山地域の自然のすばらしさを市内から来た方々が発信している。もともと地元人も郡山の自然に目を向けて、地元からアピールする必要があるのではないが。
17					鹿児島市でも農業用ビニールや残農薬の回収をしていたりしているが、都市農業センターまで持っていくのは大変なので、地域内で回収するなど、検討してほしい。
18					敬老の日のプレゼントや地域のお年寄りにはがきを出すのに名簿をいただきたいと思うが、個人情報保護が厳密になされるようになり、簿のつながり薄れていくような気がする。個人情報保護も大事なと思うが、目的や趣旨に応じて情報の提供をお願いできないか。
19					郡山地域校区社会福祉協議会の事業で0～3歳児とその親を対象に「子育てサロン」を高年齢者福祉センターで実施しているが、来年度からは同センターが使えなくなると聞いている。旧鹿児島市内では福祉館等を利用しているようだが、郡山地域にはそういった施設がないので、管内の公共施設の和室等を利用していただきたい。
20					最近、子どもたちが不幸な目に遭っている状況があり、小学校でもスクールソーシャル委員会を設置しているが、自治会を中心に住民が協力して地域全体で子どもたちを守るための組織をつくる必要があるのではないか。
21					地域まちづくり会議の運営について、年間スケジュールを示して欲しい。